

報告（1）令和6年度第1回村上市総合計画審議会での意見に対する市の考え方

項目等	意見の内容	意見に対する市の考え方
<p>保育士資格取得支援事業</p> <p>成果指標 6時間以上勤務する職員の制度利用者数</p> <p>基本目標1 子育てと健康のまち</p> <p>資料4-2 3ページ</p>	<p>子育て世代は働き盛りの年齢層が多く、仕事と子育てを両立させることが大変な時期であるため、保育士の存在は非常に重要です。保育士自身も子育て中の場合、土曜日の出勤がづらいなど、負担が大きい仕事であるというマイナスイメージがあります。マイナスイメージを払拭する対策がないと、支援事業に力を入れても、保育補助者に保育士資格を取得しようと思う人は増えないのでは。</p>	<p>ご指摘のとおり、保育士不足については、こども課としましても重要かつ喫緊の課題として認識をしており、給与等処遇の改善や、派遣保育士の採用など様々な対策を実施しておりますが、解決には至っていない状況であります。</p> <p>この保育士資格取得支援事業についても、そのような状況の中で少しでも保育士を目指す方の支援となるよう、令和3年度から新設した事業となっておりますが、ご意見をいただいたとおり、この事業のみで解決するものではありませんので、引き続き様々な角度から保育士確保に向けた事業を実施していくこととしています。</p>
<p>一般介護予防事業</p> <p>成果指標 新規要支援・要介護認定者の平均年齢</p> <p>基本目標1 子育てと健康のまち</p> <p>資料4-2 6ページ</p> <p>参考 R5実績値83.875歳 R7目標値83.7歳 R8目標値84.0歳</p>	<p>令和5年度実績値は、令和7年度目標値を達成し、令和8年度は84歳を目指しています。現場での観察から、要介護度が介護になるような方が認定されないなど、実際に支援が必要な人に届いていないケースが見受けられます。平均年齢を引き上げるだけでなく、必要な人に対して適切な支援が行き届くのが重要と感じていますが、市として最終的な目標値は何歳なのでしょうか。</p>	<p>介護予防の評価指標を、新規要支援、要介護認定者の平均年齢としているため、要介護状態になることを遅らせる（年齢を引き上げる）ことが目標となり、目標値は、達成可能な見込みのある数値（年齢）を設定しています。最終的な目標値については、健康づくり計画である「健康ひらかみ21計画」との整合性も踏まえ、次期評価指標設定時に検討いたします。（基本目標が「健康寿命の延伸」となっており、「平均寿命」と「平均自立期間（要介護2以上になるまでの期間）」、「平均寿命と平均自立期間の差」が評価指標として設定されています。）</p> <p>支援が必要な人にサービスが行き届いていない状況があるとのことですが、引き続き、市が行っている様々な事業を通じて、支援が必要な人を把握し、必要に応じてサービスにつなげられるようにいたします。そのような人が身近にいた場合には、地域包括支援センターや基幹相談支援センター、地域の民生委員等につないでいただきますようお願いいたします。</p>
<p>生活支援体制整備事業</p> <p>成果指標 生活支援事業に取り組む自治会の割合</p> <p>基本目標1 子育てと健康のまち</p> <p>資料4-2 6ページ</p> <p>参考 R5実績値50.0% R7目標値56.8%</p>	<p>近所の人すべてが高齢者で、お互いに支え合うことが困難だと感じる方もいます。令和7年度目標値（生活支援事業に取り組む自治会の割合）56.8%は、村上市地区であれば妥当だと思いますが、中山間地域などの地域は、改善策の具体的な実施方法が重要なポイントとなっていると思われます。</p>	<p>ご指摘のとおりで、これまで続けてきた「身近な通いの場」が世話人の高齢化などによって継続できなくなったり、住民が高齢化し、地域における支え合い活動に取り組めなくなっているなどの実態から、実績値が下がっていると分析しています。今後も増やしていく目標にはなっていますが、高齢化率50%を超える地域もあり、住民がほぼ高齢者という集落では、これまでできていた村仕事や行事も実施困難になっているという現状も踏まえ、市外からの人材交流など、集落だけではなく、地域全体で改善策を検討できるよう、市が行っているあらゆる事業を通して、住民と協働して取り組んでいきたいと考えます。</p>
<p>特殊詐欺等対策</p> <p>成果指標 刑法犯の発生件数</p> <p>基本目標2 豊かで安心なまち</p> <p>資料4-2 11ページ</p>	<p>投資詐欺に関する相談者の方たちから、同じような投資に関わっている人が多いと聞いています。恥ずかしさや、家族に知られることで生じる問題などから、他人に相談することが難しいことだと思いますので、被害を未然に防ぐためには、詐欺について広く周知し、理解を深める機会をしっかりと設けていただきたい。</p>	<p>警察等と連携し、特殊詐欺の被害に遭わないための研修会やセミナーを開催する等、引き続き周知徹底する機会を設けていきます。</p>

項目等	意見の内容	意見に対する市の考え方
<p>上水道老朽管更新事業</p> <p>成果指標 上水道有収率</p> <p>基本目標2 豊かで安心なまち</p> <p>資料4-2 14ページ</p> <p>参考 R3実績値83.6% R4実績値80.1%</p>	<p>令和4年度実績値が3.5ポイント下がっているのは、水害の関係で復旧が必要になってしまったのでしょうか。</p>	<p>8.3大雨災害による断水のほか大雪、寒波等により、有収水量が減少したことが起因しており、災害による料金減免を実施したことの影響が大きかったと考えています。</p>
<p>河川整備事業</p> <p>成果指標 河川改修延長</p> <p>基本目標2 豊かで安心なまち</p> <p>資料4-2 14ページ</p>	<p>砂浜の減少が新潟県内でも問題になっているようですが、村上市でも問題になっているのでしょうか。</p>	<p>寒川海岸(山北地域)や柏尾海岸(村上地域)、塩谷海岸(神林地域)で侵食による砂浜の減少が発生しています。現在、海岸管理者である県において下記の対策事業が実施されており、市では関係団体と連携しながら、対策工事の整備促進について要望を行っています。</p> <p>R6年度事業箇所・内容等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寒川海岸侵食対策事業(離岸堤の整備) ・柏尾海岸侵食対策事業(離岸堤及び波返し護岸の整備) ・塩谷海岸(養浜の実施、離岸堤の整備)
<p>各種公共交通機関の利用促進</p> <p>成果指標 公共交通の収支率(路線バス等)</p> <p>基本目標2 豊かで安心なまち</p> <p>資料4-2 16ページ</p> <p>参考 R5実績値8.0% R8目標値13.0%</p>	<p>「公共交通の収支率」について、収支率が低いのは利用者数の少なさが原因なのか、あるいは運賃・利用料金と経費のバランスの問題なのか、利用率が明示されていると原因がわかりやすいのではないのでしょうか。</p>	<p>今後は目標値の算出方法及び原因などを表記します。</p> <p>算出方法 収支率＝収入額÷支出額×100</p> <p>原因 行政が公共交通サービスを提供する理由は、民間事業では成り立たない場合が多く、村上市においても外出支援やにぎわい創出を目的として事業を行っているため、公益性に重点をおいたものとなっています。そのため、運賃も低廉に設定されており、コロナ禍終息後の利用者数は回復傾向にあるものの、昨今の労務単価や燃料費高騰などの影響により収支率は目標値を下回っています。</p>
<p>空き家等管理不全防止対策</p> <p>成果指標 管理不全な空き家等の改善度(改善件数/指導件数)</p> <p>基本目標2 豊かで安心なまち</p> <p>資料4-2 18ページ</p>	<p>財産管理や清算といった仕事をしているが、業者から解体費用が年々右肩上がりになっている話を聞きました。村上市では費用助成がないかと思いますが、費用助成の支援制度があれば、空き家の解体に着手する人も増えて、空き家問題の解消につながりますので、支援制度の整備に取り組んでいただきたいと思います。</p>	<p>第2期村上市空家等対策計画において、空家等に対する解体費補助の導入について検討することとしており、早期導入に向けて準備を進めています。しかしながら個人財産に対し公費による支援という点から鑑みると、あまり多額の補助はそぐわないと考えますので、空家等の自発的解体を後押しする制度として計画しています。</p>

項目等	意見の内容	意見に対する市の考え方
<p>有害鳥獣捕獲の担い手確保事業</p> <p>成果指標 わな免許取得者数</p> <p>基本目標3 魅力ある賑わいのまち</p> <p>資料4-2 19ページ</p> <p>参考 R5実績値6人 R8目標値20人</p>	<p>本市も頻繁に有害鳥獣被害がありますが、猟師の高齢化が進んでいます。実績値を見ると、令和5年度のわな取得者数は6人まで減少していますが、令和8年度目標値は20人です。後半の取組として「周知を進める」とありますが、誰をターゲットにどのような周知を進める予定ですか。</p>	<p>農作物への有害鳥獣対策は、被害防除としての電気柵設置、環境整備としての農作物残差の加害鳥獣からの隔離等と合わせ、加害鳥獣の駆除が必要です。</p> <p>このことから後半の取組みとして農業従事者及び集落（区、農家組合等）の役員をターゲットとし、広報での周知に加え、区長会や農家向け電気柵設置要望の機会に合わせて制度の紹介を行うことで周知を進めます。</p>
<p>村上牛生産振興対策事業</p> <p>成果指標 村上牛出荷頭数</p> <p>基本目標3 魅力ある賑わいのまち</p> <p>資料4-2 19ページ</p> <p>参考 R4実績値291頭 R5実績値252頭 R7目標値415頭</p>	<p>令和5年度に出荷頭数が減少した要因として「規模の大きい畜産農家が一時体調不良のため生産をストップしていた」とありますが、現在は再開していますか。また、令和5年度実績値と令和7年度目標値の差が大きいですが対策はありますか。</p>	<p>令和5年度は、規模の大きい畜産農家が令和3年に体調不良のため子牛の導入を一時ストップしていたために例年よりも出荷頭数が少なくなっていました。今は回復し、令和6年度からは少しずつ直近の出荷頭数に戻っていきます。</p> <p>目標については、当初は肥育一貫施設を建設することで出荷頭数が増えることを想定していましたが、計画が白紙となったため、出荷頭数が増えず現状維持となっています。</p> <p>増頭に向けて、若手肥育農家を中心とした意見交換会を開催し、現状並びに増頭を含む今後の経営に関する意向の確認を行い支援等についてJA等の関係機関等とともに検討しています。</p> <p>また、後継者のいない畜産農家も多くいることから、事業継承に向けた検討もJA等の関係機関と検討しています。</p>
<p>村上茶振興対策事業</p> <p>成果指標 栽培面積</p> <p>基本目標3 魅力ある賑わいのまち</p> <p>資料4-2 20ページ</p> <p>参考 R4実績値19.28ha R5実績値17.27ha</p>	<p>令和5年度で栽培面積が減少しています。取組内容を見ると販売促進ということですが、長期的に見れば作付は増えますが、栽培面積拡大には直結しないのではないのでしょうか。減少した箇所には、まだ茶樹が残っていると思われるため、事業継承対策を行う必要があると思います。</p>	<p>需要の増加が村上茶の生産振興には不可欠であることから、茶畑整備等のハード面に加えて、知名度の向上や販売促進等、多角的に取り組むことが栽培面積・生産体制の拡大・維持につながるものと考えています。</p> <p>生産をやめた茶畑の一部には茶樹が残っていますが、茶樹の寿命が一般的に30年から35年といわれていることから継承の可能性の確認と併せ、茶畑の利活用について、所有者の意向を確認し対応を検討している段階です。当該茶畑への対応を含め、引き続き村上市茶業組合と連携しながら、栽培面積の拡大に取り組んでいきます。</p>
<p>水産振興事業</p> <p>成果指標 市内の水揚量</p> <p>基本目標3 魅力ある賑わいのまち</p> <p>資料4-2 21ページ</p> <p>参考 R4実績値1,798t R5実績値1,502t R8目標値2,200t</p>	<p>鮭の不漁については、市でも取組を進めていると思いますが、水揚量は減少しています。今後の取組として「不漁の背景を探り」とありますが、温暖化が原因ですか。また、放流数を増やすことで水揚量は増加するのでしょうか。</p>	<p>温暖化により海水温上昇などを招き海洋環境が変化したことが、鮭の成長や回帰を阻害する要因の一つと言われております。これまで毎年9百万匹前後の稚魚を放流していること、気候変動や海洋環境の変化といった自然現象を予測することが困難であることから、放流数を増やすことで戻る鮭が確実に増えるというものでもありません。</p> <p>このたびの不漁は北海道をはじめ東北全域にわたる広域的な問題となっており、県、漁業関係者等と連携して情報共有及び原因分析に努めます。</p>

項目等	意見の内容	意見に対する市の考え方
<p>ホームページサイトでのモデルコースの情報発信</p> <p>成果指標 市観光情報戦略会議ホームページへのアクセス数</p> <p>基本目標3 魅力ある賑わいのまち</p> <p>資料4-2 24ページ</p>	<p>村上市のホームページから下に降りていくと、観光協会のバナーがありますが、目立っていません。市外の方々から村上市の観光情報を最初に見るのは、村上市のホームページだと感じています。そのため、「観光情報がさらに詳しいのはこちら」などと表示して、観光協会のバナーを目立たせてはどうでしょうか。リンクがあるだけでは気づかないで見逃してしまうと感じていますので、変更していただきたいと思います。</p>	<p>観光協会のバナーを大きく表示するように変更しました。</p>
<p>学力向上対策事業</p> <p>成果指標 NRT偏差値平均(小6) NRT偏差値平均(中3)</p> <p>基本目標4 人が輝く郷育のまち</p> <p>資料4-2 27ページ</p>	<p>少子化が進むと、子どもたちの刺激になる要素が不足し、多様な経験や学びの機会が少なくなります。子どもたちが同じような環境で成長することは、中には優秀な子どもが輩出されることもありますが、環境的には望ましくないと考えています。これは、新潟県全体でそうした傾向が見られます。子どもたちに刺激を与えられるような環境を整備して欲しいと思います。</p> <p>また、そのような閉鎖的な子どものコミュニティや学校が存在すると、子どもたちの中には居心地が悪く感じる子どもも出てきます。不登校対策として「教育支援センター事業」がありますが、現在の人口減少の中で起こる、閉鎖的なコミュニティ化している学校の現場が、良い影響を与えないのではないかと考えています。</p>	<p>ご指摘のとおり、少子化が進めば単学級のまま進級していくことで人間関係が固定化されてしまうといった懸念はあるかと思えます。そのような懸念を少しでも解消し、子どもが多様な個性に出会うことができるように、現在、市内の小・中学校統合計画が進められています。また、現行の学習指導要領の中心的な理念に「社会に開かれた教育課程」があります。市内小・中学校では、この理念の下、総合的な学習の時間を中核にして、地域の「人」や「もの」と出会いながら学びを深めていくような教育活動が進められています。そうした教育活動を充実させていくことで、学びを通して子どもに刺激を与えていくことが大切です。なお、NRTの結果では、単学級だから学力定着に課題が見られるといった傾向は得られていません。</p> <p>小学校6年生では、令和5年度において算数と英語の偏差値平均が前年度より向上しており、令和3・4年度より下がっているとはいえません。中学校3年生については、国語・数学・英語ともに低下傾向にあるといえます。コロナ禍の影響を調べるために、流行が始まった2020年度以前と以降の偏差値平均を比較してみました。小学校6年生においては、2020年度を境に国語・算数ともに極端に低下したとはいえません。むしろ、コロナ5類移行前後のここ2年における低学年での学力低下が顕著になっています。一方、中学校3年生では、2020年度を境に英語の偏差値平均が50を切り続けているため、こちらは何かの影響があったかもしれません。しかし、それ以上に国語・数学における中学校1年生進学時やその後の進級ごとの低下がここ数年で顕著になっています。小学校・中学校ともに、NRTの正答率に課題が見られる小問がある程度決まっているため、そのような実態把握とそれに基づいた授業改善を進めていくことが目標値達成に向けて重要になると考えています。</p>

項目等	意見の内容	意見に対する市の考え方
<p>教育支援センター事業</p> <p>成果指標 不登校発生率(小学校) 不登校発生率(中学校)</p> <p>基本目標4 人が輝く郷育のまち</p> <p>資料4-2 27ページ</p>	<p>少子化が進むと、子どもたちの刺激になる要素が不足し、多様な経験や学びの機会が少なくなります。子どもたちが同じような環境で成長することは、中には優秀な子どもが輩出されることもあります。環境的には望ましくないと考えています。これは、新潟県全体でそうした傾向が見られます。子どもたちに刺激を与えられるような環境を整備して欲しいと思います。</p> <p>また、そのような閉鎖的な子どものコミュニティや学校が存在すると、子どもたちの中には居心地が悪く感じる子どもも出てきます。不登校対策として「教育支援センター事業」がありますが、現在の人口減少の中で起こる、閉鎖的なコミュニティ化している学校の現場が、良い影響を与えないのではないかと考えています。</p>	<p>閉じたコミュニティによって人間関係の固定化が懸念されることは、ご指摘の通りであると考えられます。ただ、そのことが不登校児童生徒の増加等に影響があるかどうかは定かではありません。一般的には中1ギャップと言われるように、人数規模を含めた環境の変化が、不登校等のリスクを高めるということは考えられます。ただ、市内の小中学校では、R3年度まで小学校の不登校数が県や全国に比べても抑えられてきており、その状況が現在の中学校の不登校数の減少につながっています。少子化の中にあつた小学校で不登校数が抑えられたこと、その後中学校に進学しても減少傾向が見られたことは、悪影響とは考えづらいところでもあります。この2年の小学校の不登校児童数が増加していることは大きな課題と捉え、様々な対応をしているところですが、その要因は、新型コロナウイルス禍における影響など、多岐にわたるものと考えています。</p>
<p>文化芸術振興事業</p> <p>成果指標 美術展覧会観覧者数</p> <p>基本目標4 人が輝く郷育のまち</p> <p>資料4-2 30ページ</p>	<p>人口減少対策の一つに、市外の様々な知恵や力を、発達した通信技術を活用して交流を促進していくという方法もあると思います。文化芸術の分野についてもデジタル技術を活用しながら交流を促進し、市に新しい知見、新しい経験、新しい情熱が入ってくるような環境整備が必要だと思えます。</p>	<p>芸術文化活動への参加や観覧者の減少は、人口減少が大きな原因のひとつと考えられます。そのような状況で、ご指摘のデジタル化社会に則したさらなる交流の促進は、当市の芸術文化活動の推進を行う上で、重要な手段となります。</p> <p>市展においては、これまでも市外から多くの作品が出品されていますが、当市の文化芸術活動がより充実したものになるよう、市内外に向けて引き続きデジタル技術を駆使して情報発信・情報収集等を行ってまいります。</p>
<p>人権・同和対策事業</p> <p>成果指標 人権講演会等の参加者数</p> <p>基本目標5 多様性が広がるまち</p> <p>資料4-2 32ページ</p> <p>参考 R5取組状況 人権講演会 「LGBTQと学校生活」 開催 人権映画上映会 LGBTをテーマとした 「カラコエの花」 上映</p>	<p>LGBT をテーマとした取組は素晴らしいと思います。この取組は主に教員や成人を対象としていますが、実際には子どもたち自身が困難を抱えていることもあります。子どもたちにとって自分らしさを受け入れられるような教育は非常に重要です。また、人権の観点からも、子どもたちを理解し、適切なサポートを提供することが非常に重要です。</p> <p>子どもたちが自分自身を受け入れ、自己肯定感を持てる環境を作り上げることが、子どもたちにとって最も良い方法だと考えています。今後も継続して取り組んでいきたいと思えます。</p>	<p>性的マイノリティの方々の人権尊重（多様性の尊重）については、今後も継続して取り組み、学校に当事者である子どもがいた場合には、相談窓口の情報提供など、学校教育課と連携して支援に努めます。</p>
<p>交流・定住促進事業</p> <p>成果指標 関係人口関連事業への参加者のうちリピート率</p> <p>基本目標5 多様性が広がるまち</p> <p>資料4-2 33ページ</p>	<p>様々な分野の産業でも、交流促進事業の連携が有効というご意見があります。また、人材不足についての意見もありました。人口減少により影響が出てきていると感じています。</p>	<p>移住者獲得、Uターン促進のため事業を継続して行っていますが、各市でも同様の移住施策があるため、その中から村上市を見つけてもらえる、選んでもらえるように既存事業の拡充と周知の強化、新規事業の検討を行ってまいります。各事業の中で市内外の人とのつながりづくりを進め、村上市のファンを増やし、移住者獲得に努めます。</p>

項目等	意見の内容	意見に対する市の考え方
<p>国際交流推進事業</p> <p>成果指標 なし</p> <p>基本目標5 多様性が広がるまち</p> <p>資料4-2 32ページ</p>	<p>事業概要や取組がありますが、成果指標がありません。理由は。</p>	<p>実施計画のみに掲載されている事業であるため、成果指標がありません。</p>
<p>地域おこし協力隊推進事業</p> <p>成果指標 地域おこし協力隊の隊員数 地域おこし協力隊退任後の定住率</p> <p>基本目標5 多様性が広がるまち</p> <p>資料4-2 33ページ</p>	<p>ニュース等でも注目されている「地域おこし協力隊推進事業」は、村上市の人口を少しでも増やし、刺激を与えることにつながっていると思います。</p>	<p>地域おこし協力隊配置は地域と協力しながら課題解決、地域の活性化や魅力発信に取り組むことを目的とし配置しており、結果として村上市への定住をする者や関係人口として村上市と関わりを持つなど、地域おこし協力隊の配置は今後の人口減少対策に寄与するものと考えています。 今後も受入地域の掘り起こしを進め、地域や市の課題に対し、関係各課と連携しながら様々な分野での配置を検討していきます。</p>
<p>高齢者福祉全般について</p> <p>基本目標1 子育てと健康のまち</p>	<p>様々な高齢者支援がありますが、不便を感じても大丈夫だと言う人や支援を受けることが自分の弱い立場を認められると感じる人がいます。また、高齢者が一人暮らしで、県外に家族がいる場合、支援やサービスについての情報不足や、民生委員との連絡が難しいことがあります。資料だけで判断するのは難しいですが、（高齢者ご本人とご家族・市・民生委員など関係機関の）連携が円滑に進んでいないことが評価Cに一部影響しているのではないかと思います。</p>	<p>高齢者支援にあたり、民生委員による訪問のほか地域包括支援センターの職員が高齢者宅を直接訪問しており、必要に応じて親族に連絡を取るなど、ケースに応じて親族、民生委員等の関係者と連携しながら対応をしています。町内、集落の高齢化が進み、円滑な連携を進めるうえでの課題はありますが、引き続き関係者と円滑な連携が図られるよう進めていきます。</p>
<p>公共交通全般について</p> <p>基本目標2 豊かで安心なまち</p>	<p>自動運転技術などが発展し、福島県南相馬市では自動車メーカーと共同して自動運転の実証実験をしています。自動運転などの技術が発展すれば、高齢の方でも安心して移動することが可能になり、将来的に公共交通機関の代わりになります。交通インフラの整備が村上市の地域で重要になってくると思いますので、このような先端技術の導入を積極的に検討していただきたいと思います。</p>	<p>バス・タクシーを含めた運輸業は、慢性的な運転士等の労働力不足が課題となっています。不足する労働力をカバーするために自動運転をはじめとした先進技術の導入は、今後、必要不可欠であると考えますので、県内外で既に導入・運用を開始している事例を参考に検討します。</p>
<p>雇用対策全般について</p> <p>基本目標3 魅力ある賑わいのまち</p>	<p>全体的に実績値が向上し、事業は順調に推移していますが、地元企業が苦労しているのは人手不足です。人材確保が困難な場合は様々な業種であります。人口減少対策と子育て支援対策の取組の次は、就労対策が重要と考えます。子どもが市外の大学に進学した場合も、卒業後には村上市に戻ってくる取組が重要です。</p>	<p>市内事業者の雇用促進及び採用力強化を目的として令和6年7月22日に株式会社リクルートと「村上市の雇用促進に関する協定」を締結します。この協定締結によるメリットとして、株式会社リクルートが持つ人材採用のノウハウを市内事業者に提供し、応募者獲得・採用成功のためのフォロー活動についての伴走支援や採用力強化等に関する各種セミナーを市と協働で行い、市内雇用の拡大を図ります。また、この取り組みにより、採用ホームページづくりを後押しすることから、村上市内外の若者などにも市内企業の魅力発信ができると考えます。</p>

項目等	意見の内容	意見に対する市の考え方
<p>子育て・男女平等について（生理用品）</p> <p>基本目標5 多様性が広がるまち</p>	<p>女性の生理用品についてです。子どもや高齢者のおむつなどは補助がありますが、生理用品補助はありません。子育てにおいて、女の子が多ければ毎月の支出はかなり多くなると思います。生理用品補助がある市町村に住みたいと思う方も多いのではないのでしょうか。スコットランドでは生理用品が全て無償化されているという情報もありました。たしかに、生理用品は必要不可欠であり、支援が求められていると考えられます。また、男女平等の考えであれば子どもだけではありません。男性にはなく女性だけあり、女性は男性より給料が低い傾向があるにも関わらず、毎月費用がかかります。男女平等という考えで補助制度があってもいいのではないのでしょうか。</p>	<p>ご提案の補助制度とは異なりますが、「生理の貧困」に係る取組として生理用品の無償提供を実施している自治体はあり、当市においても、令和3年度に県と連携し、困難を抱える女性を相談機関に繋げるとの趣旨で生理用品の配布を実施したことがあります。この時は利用がありませんでした。補助制度の創設の際には、目的、効果、実施方法など十分な検討、協議が必要ですので、他自治体の先行事例等をまずは研究したいと思います。</p>
<p>成果指標だけの項目について</p>	<p>基本目標5には成果指標のみの項目が多くあります。実績値と目標値がということは、事業があるのではないのでしょうか。</p>	<p>令和6年2月の総合戦略改定時に、新たに指標を追加したため、成果指標のみとなっています。</p>